風のたより　４月号

うららかな春の日和となりました。皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
薫風会風の家も４月から２２年目に突入し、令和５年度を迎える事ができました。これもひとえに、皆様のご支援とご協力によるものと、心より感謝いたします。

この３年余りは、新型コロナ感染症に翻弄された期間でした。面会の制限、外出・外泊の禁止等々、ご入所者様へ会うことすらままならない状態で、ご家族様には大変ご迷惑、ご心配をお掛けいたしました。そんな中、ご家族様から「スタッフの方も大変ですね。頑張ってください。」等々、温かいお言葉をたくさんたくさん、いただきました。そのような言葉に何度も救われ、スタッフ一同頑張って来られたと思います。本当にありがとうございました。
さて、この新型コロナ感染症も令和５年５月８日以降、季節性インフルエンザ並みの５類へと引き下げられます。もうすでにマスク着用は個人の判断に委ねられています。そうなれば、今まで制限しておりました面会等も、新型コロナ感染症が流行する前の状態に戻す予定です（詳細は後日詳しくお伝えします）。やっと自由にご家族様に会うことができる訳です。
しかしながら、新型コロナ感染症はまだまだ得体の知れないウイルスであることに違いありません。人数は減ったとはいえ毎日感染者は確認され、死亡する方がいることも事実です。なので、５類になったからといって気を緩めることなく、逆に再度気を引き締めていかなくてはいけないと思っています。施設職員は今後も常時マスク着用と換気の徹底等、今まで実施していた感染予防を続けて参ります。

ご家族様におかれましても、施設への来所時はマスク着用と、体調不良時や発熱時等は面会を控えていただく事をお願いしたいと存じます。

※裏面につづく

さて、令和５年度も風の家の理念である「**納得・共存・勇気**」を念頭に置いて、事業計画を作成しました。その中から特に今年度、力を入れて実践していきたいことを抜粋してお伝えしたいと思います。

① 令和元年度に取り組みを始めた「ノーリフティングケア」を更に深め、ご利用者様・職員、両者にとって安全・安心なケアを実施します。

② 令和４年度に引き続き、介護施設における抜本的な業務改善の方法である「北九州モデル」を取り入れ、ＩＣＴの充実や業務改善（休憩時間の確保・時間外勤務の削減）に取り組みます。

③ １つのユニットを、医療を重視した「ハイケアユニット」とし、看護師を常駐させ、健康観察を強化します。

④ 最期の在り方（過ごし方）を日頃から考え、ご利用者様・ご家族様ともに満足のいく最期を送っていただけるように、終末期ケアに力を入れます。

この事業計画のもと、職員一同、日々努力してまいります。今年度もよろしくお願いいたします。

令和５年４月１０日　施設長
手嶋　千代美

社会福祉法人　薫風会　風の家
〒807-0801
北九州市八幡西区大字本城
3378-1

TEL：（093）695-7000

令和５年４月